

7 健康・医療

	タイトル	意見等
1	徳島県中央病院の整形外科受診の待ち時間について	県立中央病院の外来受診をしました。が、あまりにも待ち時間が長かったため、ご意見申し上げます。 交通事故後の医師診断書をもらうために整形外科の医師の診察を受けました。 外来到着時に、資料をお渡ししていましたが、病院側のチェックミスにより、レントゲン撮影のオーダー間違いをされました。 撮影後、診察の最後になってこの事に気がついたため、再度レントゲン撮り直しを行いました。 再度の診察後に、二度のレントゲン撮影をしたために待ち時間が長かったことを医師にお伝えしましたが、「この文章の、この場所を読めてませんでした。他の方もこれくらいの時間は待っています。」とだけ話され、謝罪の類の言葉はありませんでした。 10時半の予約でしたが、診察終了時点で13時20分です。 急患や予想外の事があったのか、私には知る由もありません。 ですが、患者さんは待つて当然、というような態度と話し方には大変憤りを感じました。 もし医師が入職間もなくして検査オーダーなどに慣れていないなどの状況であれば、医療事務などのスタッフが積極的にサポートをして欲しいなと思います。 患者は余計な被ばくを防げるし、スタッフも患者さんも診察時間の短縮ができて負担が少なくなると思います。 今後も安全に配慮をしながら、速やかな診察をお願い致します。
2	小松島港まつり・ブルーインパルス展示飛行とドクターヘリの運行について	来たる7月18（土）・19（日）に小松島港まつりと19（日）にブルーインパルス展示飛行が予定されています。 楽しみにしている県民も多いでしょうし、ブルーインパルスの見学には関西や四国全県のほか、全国からファンが訪れるでしょう。 小松島市中心部や徳島市の国道、神戸淡路鳴門道・徳島道・高松道等の高速道路では渋滞が予想されます。 昨年の自衛隊善通寺駐屯地記念行事でのブルーインパルス展示飛行では、高松道坂出ICー善通寺IC間付近（約20km）で大渋滞となり2～3時間要する事態となりました。 そしてドクターヘリの緊急搬送により善通寺上空での飛行は急遽中止となりました。 報道によると約26500人の観客が訪れていたようです。 この件につき、香川県ウェブサイトの県民の声で「交通機関は全て麻痺状態で使い物にならず、JR利用者は多度津や丸亀までの徒歩移動を強いられました。 もし少しでも早く県が自衛隊側にドクターヘリの到着候補病院が善通寺にあり、かつ、そこを目指している事を伝達していたらそれなりに対応できたかもしれません。」といった問い合わせに対し、香川県から「本件については、当日の正午頃、他県のドクターヘリから本県のドクターヘリ運航会社に、香川県内の医療機関に患者を搬送する旨の情報提供があり、運航会社では、その飛行経路に善通寺上空が含まれていたことから、直ちに、消防機関を通じて、関係機関に情報共有を行いました。」との回答があります。 小松島市での救急搬送でも同様のことが想定されます。 7月19日は休日の日曜日ですが、小松島の日赤病院への県内外からのドクターヘリや救急車による患者さんの搬送も想定されます。 できれば県内の他の医療機関の人員を増やし、受け入れ体制を拡充するなどして万全の状態での臨み、患者さんの命を早急に救う措置を講じてほしいと思います。 日赤病院などに入院されている患者さんもブルーインパルスは楽しみにされていることでしょう。
3	医療人材の確保	。 後藤田正純徳島県知事は慶應義塾大学医学部医学研究科に徳島県地域枠を開設しなければならない。 ※高度医療人材の確保（整形外科医・脳神経外科医・心臓血管外科医・救急救命医など） 。 後藤田正純徳島県知事は自治医科大学医学部医学科における徳島県枠を二名から三名へと増枠をしなければならない。 ※総合診療医の人材養成 。 後藤田正純徳島県知事は産業医科大学医学部医学科に徳島県地域枠を開設しなければならない。 ※産業医の人材の確保⇒労働安全衛生法（安全衛生委員会又は衛生委員会） 。 後藤田正純徳島県知事は徳島文理大学に医学部医学科を開設しなければならない。